

## 口絵写真および災害の概要 平成 28 年熊本地震による斜面崩壊



(国際航業、パスコ撮影)

<災害の概要：斜面防災技術 Vol.43, No.3 地すべり学会・斜面防災対策技術協会熊本地震災害合同調査団報告より>

平成 28 年 4 月 14 日、16 日に熊本地方に震度 7 の地震が発生し、熊本市から阿蘇地方にかけて多数の斜面崩壊等が発生した。この地震は、日奈久断層帯と布田川断層帯の連動による地震とされている。

西原村大切畑地内で発生した崩壊は、今回活動した布田川断層帯上で震源から北東約 20km に位置する。大峰山の火山岩風化層を主体に、県道熊本高森線の橋梁に向かって長さ 150m、幅 250m、傾斜約 38° の北向き斜面が、崩壊性地すべりを起こしたと見られる。崩壊地末端を流れる鳥子川は一時的に閉塞された。